



横浜市長 山中竹春

横浜市長だより
横浜市では、市民や事業者とともに取組を重ねてきた結果、2001年度と比べて、ごみの量を約50%削減しました。現在は、この成果をさらに発展させ、ごみを減らすだけでなく、まだ使えるものや資源を捨てずに活かす、環境にやさしい暮らし方を「STYLE100」プロジェクトを通じて広げています。

近年、地球温暖化の影響とみられる猛暑や豪雨が相次いでおり、その進行を抑えるためには、温室効果ガスを減らしていく必要があります。本市のごみ処理に目を向けると、そこから排出される温室効果ガスのうち、約9割はプラスチックなど石油由来のごみを焼却する際に発生しています。このため本市では、プラスチックごみの新たな分別を導入し、これまで焼却していたプラスチックを、資源として回収・リサイクルすることで、温室効果ガスの削減を進めています。

2025年4月から始まった新たなプラスチック分別にご協力いただいた結果、燃やすごみに含まれるプラスチックの量を1万2,000トン削減することができました（2022年度比）。市民の皆様のご理解とお一人おひとりの行動に、改めて心より感謝申し上げます。

2026年3月には、国連事務総長の諮問委員会から、本市の実績と取組が高く評価され、廃棄物削減や資源循環に関する先進的な取組を進める20都市の一つに、日本で唯一、横浜市が選出されました。

これまで積み重ねてきた成果を力に、今後もごみを減らし、限りある資源を繰り返し活かす取組を着実に進めてまいります。次の世代に環境を引き継ぐ持続可能なまち・横浜を、これからも皆様とともにつくってまいります。

横浜市版

16面 世界へはばたく子どもたちの挑戦を応援！ 横浜のグローバル教育

各種手続・窓口案内
市営交通の案内など

横浜市コールセンター（毎日8時～21時）
☎045-664-2525 ☎045-664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の
開庁時間

●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）
※昼の時間帯はお待たせする時間がある場合があります。
●毎月第2・4土曜日 9時～12時
（戸籍課・保険年金課・こども家庭支援課の一部の業務）

横浜市データ
2026年
7月1日現在

人口 3,758,990人

世帯数 1,811,626世帯

横浜市 推計人口・世帯 検索

市民の皆さんのご協力で 世界の「ごみゼロ先進20都市」に 日本で唯一！選出されました！

横浜市では、長年にわたる取組により、ごみの量を約50%削減してきました。現在は、こうした成果をさらに発展させ、ごみを減らし、資源を繰り返し活用するまちづくりを進めています。

これまでの実績と取組が世界的に評価され、2026年3月、国連の「ごみゼロを目指す20都市」に、日本から唯一、横浜市が選ばれました。

国連の諮問委員会による主な選定ポイント

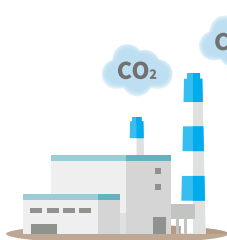
市民の皆さんとともに

- 人口が増加する中でも廃棄物を約50%削減したこと
- 2024年から環境にやさしい横浜発のライフスタイルを広げるプロジェクト(STYLE100)を展開していること

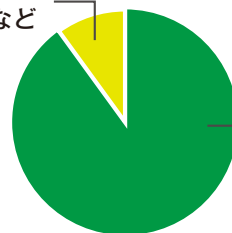
もっと地球にやさしいヨコハマへ カギはプラスチック！

横浜市では、ごみを処理する時に発生する温室効果ガスのうち、プラスチックなど石油由来のごみの焼却によるものが約9割を占めています。そのため、焼却するごみに混入するプラスチックをもっと減らす必要があります。

ごみ処理に伴い発生する温室効果ガスの内訳(2022年度)



収集車からの
排気ガスなど
約10%



プラスチックなど
石油由来のごみの
焼却によるもの
約90%



プラスチックは「ごみ」から「資源」へ

横浜市では回収したプラスチック資源を **100%リサイクル** しています。

1

プラスチック資源を回収



2

混入物の除去と
洗浄・加熱などの処理



3

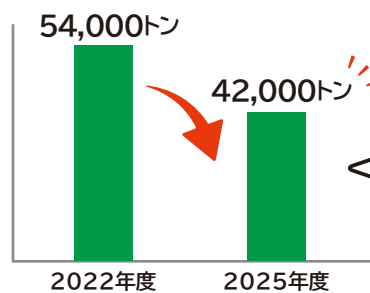
新たな製品に



2025年4月からの プラスチックの分別の成果がでています！



燃やすごみに入っていたプラスチックを
こんなに削減できました



12,000トンの
削減！

これはなんと
ごみ収集車6,000台分！



目標

2030年度までに

5.3kg削減

(年間1人あたり)

2025年4月にプラスチックの分別を市全体で変更してから1年。燃やすごみに入っていたプラスチックは、2022年度と比較して12,000トンも削減することができました。

今後は、2030年度までに20,000トンの削減を目指しており、年間1人あたりに換算すると5.3kgの削減目標となります。プラスチックを燃やさず活かすため、正しい分別に引き続きご協力をお願いします。

プラスチック資源を 燃やすごみに入れてしまっていないか!?

正しく分別すれば、プラスチックは「ごみ」
から「資源」へ生まれ変わります。



お菓子の袋を、
ティッシュと一緒に
入れてしまう…



調味料の小袋や
ラップを、生ごみと
一緒に入れてしまう…

間違って燃やすごみに入っているプラスチック資源

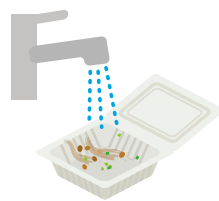
お菓子の袋



中身をはらえば

OK!

納豆のパック・トレー



容器の汚れは
軽くすぐか
拭き取れば

OK!

調味料などのチューブ類



内側が洗えない
ものは中身を
使い切れれば

OK!

スポンジ



使用後でも

OK!

歯ブラシ



金属が付いて
いなければ

OK!

プランター



古いものでも
泥をはらえば

OK!



ミーオとイーオの分別辞典
Mictionnaire
ミクシヨナリー



分別に迷ったらミクシヨナリーで検索を！



詳しくはこちら

外出が増える夏



守っていますか？

自転車の交通安全ルール

4月から
反則金の対象に

身近で便利な自転車。使い方を間違えると、大けがや命に関わる危険もあります。
交通ルールを守って、安全に乗りましょう。



こんな乗り方は反則金！



反則金制度についてはこちら
(神奈川県警察ウェブサイト)

2026年4月から、交通反則通告制度「青切符」が導入され、16歳以上の人は反則金の対象となります。

違反件数 第3位

信号無視

反則金 6,000円

徐行義務違反

反則金 3,000円

並走

反則金 3,000円

逆走

反則金 6,000円

2人乗り

反則金 3,000円

違反件数 第2位

ながらスマホなどの
携帯電話使用

反則金 12,000円

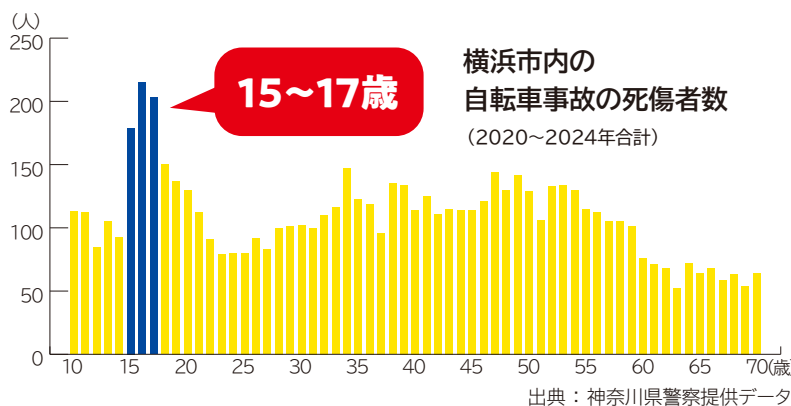
違反件数 第1位

一時不停止

反則金 5,000円

若者の
事故が
多い！

自転車事故の死傷者は
若者が多く、16歳が最多
です。



自転車事故のうち
60%以上で
自転車側に違反あり！
(信号無視・一時不停止 など)

横浜市は事故を減らす取組を実施しています！



路面表示による注意喚起

過去の事故の情報を生かして危険箇所を抽出し、自転車と車の双方から見えやすいよう路面表示を変更するなどの交通安全対策を実施しています。



色をつけることで
交差点を分かりやすく！



安全な自転車通行空間づくり

歩行者や車との接触を避けるため、自転車事故が多い箇所を中心に、自転車が走りやすい空間を増やしています。



はま

情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています
市外局番は「045」です

募集

横浜市会計年度任用職員募集中

問合せ等
詳細はこちら▶

中央職業訓練校
訓練生募集

日程等詳細はこちら▶

市営住宅入居者募集

定期募集で、未入居の住宅に原則先着で受付。詳細は8月14日から募集のしおり(区役所広報相談係で配布)かWEBで
申8月27日から
問 住宅供給公社(TEL451-7777 FAX451-7769)

「障害者週間」作品募集

①ポスター②心の輪を広げる体験作文
①小・中学生②小学生以上。詳細はWEBで
申9月1日まで
問 健康福祉局障害施策推進課(TEL671-3598 FAX671-3566)

横響と第九を歌う会 会員募集

高校生以上、抽選300人。費用等詳細はWEBで
日練習=9月20日(日)~12月16日(水)、全13回。公演=12月17日(木)
申8月24日まで
問 事務局(TEL090-3103-1971)か にぎわいスポーツ文化局文化振興課(TEL671-3714 FAX663-5606)

横浜市職員募集

社会人採用試験
就職氷河期世代採用試験

【区分】

詳細は8月4日からWEBで

【試験日】

8月21日(金)~9月11日(金)のうち受験者が選択する日

【受付期間】

8月4日~18日

問 人事委員会事務局任用課(TEL671-3347 FAX641-2757)

福祉・高齢

更新のお知らせ

①福祉特別乗車券(障害)
②福祉タクシー利用券(重度障害)
③障害者自動車燃料券(重度障害)
9月30日期限の各券を所持し、10月以降も引き続き対象となる人へ①の納付書を普通郵便で8月末に発送、②③の利用券を簡易書留で9月下旬に発送
問 専用コールセンター(TEL628-9350 FAX628-9354<8月21日~12月11日>)か健康福祉局障害自立支援課(TEL671-2401 FAX671-3566)

福祉タクシー利用券(重度障害)の利用枚数制限撤廃

10月以降、1乗車あたりの利用枚数制限(7枚)が撤廃。新規申請は居住区の福祉保健センターへ
問 健康福祉局障害自立支援課(TEL671-2401 FAX671-3566)

人工肛門・膀胱 相談・交流会
参加者募集

人工肛門・膀胱保有者が関係者、当日先着50人
日9月5日(土)13時30分~16時30分
所 戸塚区役所
問 オストミー協会(団体交流室内、TEL475-2061 FAX475-2064)か健康福祉局障害自立支援課(TEL671-3602)

あんしんノート書き方講座
参加者募集

小学5年生以上の障害のある人とその家族、各選考30人。詳細はWEBで
日各10時30分~13時、各全2回
①10月1日(木)・2日(金)
②11月25日(水)・26日(木)
所 横浜ラポール
申9月4日まで
問 障害者支援センター(TEL681-1277 FAX680-1550)

養育費セミナー 参加者募集

ひとり親家庭か離婚予定の親、各抽選20人。詳細は①8月3日から②10月1日からWEBで
日各9時45分~11時45分
①9月29日(火)
②11月18日(水)
所 青少年育成センター
保1歳6か月~未就学児(予約制)
申①8月3日~9月24日に②10月1日~11月11日にTELで、ひとり親サポートよこはま(TEL227-6337 FAX227-6338)
問 申込先かこども青少年局こども家庭課(TEL671-2390)

講演・講座

成年後見制度がよくわかる講習会
参加者募集

制度概要・法定後見の申立て手続き方法。先着200人。詳細は8月3日からWEBで
日10月2日(金)9時30分~12時
所 健康福祉総合センター
申8月17日から
問 よこはま成年後見推進センター(TEL201-2088 FAX201-9116)

防災ライセンス資機材取扱講習会
参加者募集

中学生以上、各抽選50人。詳細はWEBで
日各9時~12時30分
①10月17日(土)②11月8日(日)
③12月5日(土)
所 ①中和田小学校②谷本小学校③金沢小学校
申①9月17日まで②10月8日まで③11月5日まで
問 防災・危機管理統括本部地域防災課(TEL671-3456 FAX641-1677)

市民法律講座 参加者募集

相続・終活・交通事故(自転車)・消費者被害など。抽選220人。詳細は8月3日からWEBで
日各18時15分~20時15分 10月1日(木)・8日(木)・15日(木)・22日(木)、全4回
所 関内ホール
費1,000円
申8月12日~9月4日まで
問 市民局市民相談室(TEL671-2306 FAX212-0911)

親子の下水道教室 参加者募集

水再生センターを見学後、市民防災センターへ。小学生と保護者、各先着30人。詳細は8月3日からWEBで
日10月11日(日)
申8月12日から
問 下水道河川局施設管理課(TEL671-3969 FAX641-4870)

催し

アジア太平洋循環型都市(APCC)フォーラム 開催

循環型都市づくりの最前線を学べる国際フォーラム。事前登録制。詳細はWEBで
日①9月3日(木)10時~17時②9月4日(金)9時30分~16時
所 パシフィコ横浜ノース
問 政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課(TEL671-4888 FAX664-7145)

薬物乱用防止キャンペーンin横浜開催

体験型イベントなどで薬物乱用の危険性と正しい知識を学ぶ
日8月20日(木)11時~15時
所 新都市プラザ
問 事務局(横浜市薬剤師会内、TEL761-7840 FAX754-3000)

浜なし・浜ぶどうの品評会
展示販売 開催

売切れ次第終了
日各10時。荒天中止。出品展示物の販売は11時(9時30分から会場で整理券配布)
①8月17日(月)
②8月31日(月)
所 JA横浜
①きた総合センター
②みなみ総合センター
問 JA横浜(TEL805-6612)かみどり環境局農業振興課(TEL671-2637 FAX664-4425)

よこはまピース・フェスタ 開催

平和にちなんだ絵本の読み聞かせやブックカフェ、ワークショップ
日8月12日(水)13時~16時
所 市役所アトリウム
問 市民局国際平和・ダイバーシティ推進課(TEL671-4710 FAX663-3431)

わくわく!こども夏まつり 開催

みんなで踊る盆踊りやヨーヨー釣り、スパーボールすくいなど
日8月15日(土)・16日(日)10時~15時
所 市役所アトリウムほか
問 総務局管理課(TEL671-2082 FAX662-7650)

横浜防災フェア2026 開催

防災に関するブースやステージイベントで楽しみながら防災・減災について学ぶ
日9月4日(金)・5日(土)11時~18時
所 市役所アトリウム
問 防災・危機管理統括本部地域防災課(TEL671-3456 FAX641-1677)

市民クルーズ 参加者募集

三井オーシャンスクラ
クリスマスクルーズⅠ新宮・伊東横浜発着。抽選15室。詳細はWEBで
日12月2日(水)~5日(土)
費 大人1人、施設使用料等別途費用あり。261,000円~
申 取扱旅行会社。8月31日まで
問 港湾局客船事業推進課(TEL671-7272 FAX201-8983)

日日時 所場所 費費用 保保育 申申込み 問問合せ WEBウェブページ 往往復はがき ハはがき 必要事項行事名・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・往復はがきは返信面を明記

市政へのご意見・ご提案

手紙

「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。

インターネット

市民からの提案 検索

広報よこはまをアプリやウェブで

広報よこはまは無料アプリ「カタログポケット」で閲覧できます。紙面や文字を拡大でき、記事内の二次元コードをタップするだけで、詳細ページがひらきます。音声読み上げや多言語にも対応しています。

広報テレビ・ラジオ番組(レギュラー放送のみ)

テレビ

ハマナビ tvk 18:00~18:30
YOKOHAMA My Choice! FMヨコハマ 9:30~10:00
Public Service Announcement inter fm 897 12:55~12:58

ラジオ

お知らせ

令和8年度 個人市民税・県民税・森林環境税(第2期)

①納付期限②納付方法のお知らせ

①8月31日(月)まで②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替

☎居住区の区役所税務課か総務局
①税務課(☎671-2253☎641-2775)
②徴収対策課(☎671-2255 ☎641-2775)

保育所等の申請に関するお知らせ

申請期間が例年より1週間程度早期に。申請方法が原則マイナンバーカードでのオンライン申請に変更。詳細はWEBで

☎10月1日(木)～28日(水)
☎居住区の区役所こども家庭支援課かこども青少年局保育・教育認定課(☎671-0253☎550-3942)

市立小学校、義務教育学校前期課程就学通知・就学時健康診断のお知らせ

2027年4月入学者へ10月中旬に通知を送付。健康診断は10月下旬～12月上旬に実施。詳細は8月14日からWEBで。外国籍の入学希望者は居住区の区役所戸籍課へ問合せを

☎就学通知については居住区の区役所戸籍課。健康診断は教育委員会事務局人権健康教育課(☎671-3275☎550-3627)

都市計画マスタープラン地域別構想改定に向けたアンケートに協力を

地域ごとの特性や課題に応じたまちづくりプランの改定。回答等詳細はWEBで

☎8月31日(月)まで
☎都市整備局地域まちづくり課(☎671-2939☎663-8641)

意見募集中の
案件一覧はこちら



公共事業事前評価 市民意見募集

①大さん橋ふ頭陸上電力供給設備整備事業

②二ツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区第2期地区土地区画整理事業
③ブルーライン新信号システム更新事業
④市営野庭住宅住戸改善事業(DEFG街区)

資料の閲覧は期間中WEBで

☎①②③④8月3日(月)～9月2日(水)
☎①港湾局政策調整課(☎671-7300☎671-7310)

②都市整備局二ツ橋北部土地区画整理事務所(☎363-3110☎363-3116)

③交通局電気課(☎671-3152☎550-4157)

④建築局市営住宅課(☎671-2942☎641-2756)



電子クーポンの交換は8/31まで!

ヨコハマ生活応援クーポンを電子クーポンで申し込んだ人は、スマホ決済サービスなどで使えるポイント等への交換が必要です。交換期限を過ぎるとクーポンが受け取れなくなりますので、早めの手続きをお願いします。



詳しくはこちら

☎問合せ ヨコハマ生活応援クーポンコールセンター ☎0570-045-456(月～金曜9時～17時<祝・休日を除く>) ☎050-3588-8362

生活保護費の追加給付を実施します

国の生活保護費の引き下げに関する判断を違法とした最高裁判決に伴い、追加給付が受けられる可能性があります。給付を受け取るには、申出が必要です。

対象

●2013年8月1日から2026年3月31日までの間、横浜市で1日でも生活保護を利用したことがある世帯

※市外で生活保護を利用していた人は、当時利用していた自治体へ問い合わせてください。

申出方法

現在、生活保護を利用していない

→

郵送 または ウェブ ※申出書は区役所窓口等で配布

●区役所生活支援課の窓口でも相談ができます 要予約

●詳細および窓口の予約はウェブまたはコールセンターまで

詳しくはこちら

現在、生活保護を利用している

→

担当ケースワーカーへ相談してください

☎問合せ 横浜市生活保護費追加給付コールセンター ☎0120-593-264(月～金曜9時～19時<祝・休日を除く>) ☎0120-059-726



海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は、日本シュウマイ協会 代表理事のシュウマイ潤さんに寄稿していただきました。

シュウマイこそ横浜のソウルフード

一般社団法人 日本シュウマイ協会 代表理事 シュウマイ潤

シュウマイは、横浜の数あるソウルフードのひとつ。そのことは、読者の皆さんも感じているのではないのでしょうか。ですが、日本のシュウマイ文化全体を調査、研究してきた私としては「ソウルフードのひとつ」ではなく「シュウマイこそ、横浜のソウルフード」と断言させていただきたい。それほど、横浜とシュウマイは切っても切れない関係なのです。



▲現存する日本最古の中国料理店の一つ「萬珍樓」のシュウマイ

シュウマイの歴史を紐解くと、江戸時代の開国とともに、さまざまな異国文化とともに中国料理が流入し、そのひとつとしてシュウマイが提供され始めました。それが最も早く定着した地域が横浜の関内・中華街エリアと考えられます。特に飲食店のお土産として知られるようになり、東京や関東エリアなど他の地域でも提供され始めるようになっていきます。

伊勢佐木町にあった「博雅」や中華街の「萬珍樓」など、さらに古くからシュウマイを提供していた店は

複数ありました。その文化のバトンを継承し、全国に広め、定着させたのが今日の横浜シュウマイの象徴とも言える「崎陽軒」です。

昨今、中国料理の中で餃子などに比べて目立たない存在のシュウマイですが、崎陽軒をはじめ、横浜中華街や関内・伊勢佐木町に残る老舗中華店で提供されるシュウマイは、個性あり味わい深いものばかり。ここ数年はレトロでお洒落な「ネオ酒場」などでもシュウマイが提供され、新たな横浜文化として醸成され始めています。

ぜひ横浜を代表するソウルフードとして、シュウマイを「彩発見」してみてください。

シュウマイ潤(しゅうまい じゅん)

シュウマイジャーナリスト、研究家。2015年ごろから本格的に研究活動を開始。2022年「一般社団法人日本シュウマイ協会」を発起、シュウマイの普及啓蒙も行う。今までに約2,500種、約12,000粒以上食す。



©産業編集センター／シュウマイの本

さらに
詳しい話は
こちら



ウェブ版では
抽選で
読者プレゼント
あり

☎問合せ 政策経営・国際戦略局広報・プロモーション戦略課 ☎045-671-2332 ☎045-661-2351



GREEN
x
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

公式マスコットキャラクター トゥンクトゥンク ©Expo 2027

横浜グリーンエキスポの来場者が会場内で参加できる、ワークショップや体験型展示、園芸教室、創作体験などの企画を募集しています。環境に対する思いや活動を来場者へ伝え、環境活動に取り組む人々の輪を広げませんか。

【対象】環境活動を行っている または 活動を始めたい団体や個人、企業、学校等
【募集数】100組程度

＼ レッツグリーンアクション ／

【募集期間】9月4日(金)まで



詳しくはこちら

例えばこんな企画を募集！



ワークショップ



園芸教室

問合せ 「環共」プログラム事務局 ☎03-6268-8676（月～金曜9時～17時30分〈祝・休日を除く〉）
✉info@letsgreenaction.expo2027yokohama.or.jp

もし心臓の病気にかかったら… はじめよう つづけよう 心臓リハビリテーション

心臓の病気は、誰もがかかりうるものです。発症した後は、悪化や再発を防ぐことが大切です。

心臓リハビリテーションとは？

医師などの専門スタッフのもとで、運動や薬の正しい飲み方など身体の状態に合わせた生活習慣を身につける総合的なプログラムです。

どうやって始めるの？

まずはかかりつけ医に相談してください。身体の状態により、心臓リハビリテーションを実施する医療機関で受けられます。





横浜市
オリジナル漫画で
分かりやすく
紹介しています。



詳しくはこちら



敬老パスの納付書が届いた人は 期限までの納付をお願いします

敬老パスを10月1日以降に利用するためには、8月末までに順次発送される納付書で、納期限※ までに必ず負担金を納付してください。 ※納期限は人によって異なるため、詳しくは納付書を確認してください。



詳しくはこちら



敬老パスを利用中の人	納付書が届いた人	→	納期限 8月27日(木)または9月9日(水)	→	有効期間が延長されます
	負担額決定通知書が届いた人	→	手続き不要	→	⚠ 敬老パスは捨てず、そのまま利用してください
敬老パスを利用していない人	納付書が届いた人	→	納期限 8月27日(木)	→	9月末までに敬老パスを発送します
	負担額決定通知書が届いた人	→	手続き不要	→	

有効期間がわからない人は、手元に敬老パスを準備し、専用ダイヤル（☎0120-192-123）に連絡してください。

2025年4月1日以降、75歳以上になってから運転免許証を自主返納した人は、敬老パスが3年間無料になります。（要申請）
詳しくはウェブページを確認するか、問合せダイヤルに連絡してください。

問合せ 敬老パス問合せダイヤル ☎0120-206-160（毎日8時～19時） ☎045-330-4382

世界へははたく
子どもたちの挑戦を応援!



横浜の *global* 教育

グローバル

2026年～



県内では
横浜だけ!

全額負担の留学プログラム

市立高校生対象

今年度から新たに、カナダへの約1年間の長期留学プログラム「はまっこ留学 flight」を募集します。

新しい経験に挑戦したい子どもたちを後押しするため、**渡航費、授業料、滞在費を市が全額負担**します。

【渡航期間】2027年8月～2028年6月

【募集人数】20人程度

【募集期間】9月9日まで

【応募資格】・横浜市立高校(全9校)1・2年生

・横浜サイエンスフロンティア高校附属中学校3年生

・南高校附属中学校3年生



詳しくはこちら

2023年～



市内で1泊2日のホームステイ

市立中学生対象

市内に住む**外国籍の人の家**などで、ホームステイ体験をするプログラム「はまっこ留学体験」。身近な場所で留学を疑似体験することで、異文化に飛び込む中学生のチャレンジを後押しします。

【実施期間】11月下旬 2日間(1泊)

【募集人数】40人

【募集期間】9月末ごろから受付開始予定



詳しくはこちら



参加してみて



英語を話すことが前より楽しくなったので、
もっと勉強したいと思った



引込み思案だけど、留学体験後はいろんな
ことに少しずつ挑戦できるようになった

その他にも、学年や留学目的に応じたプログラムを用意しています。



詳しくは
こちら

問合せ 教育委員会事務局学校経営支援課 ☎045-671-3494 ☎045-664-5499



横浜市LINE
公式アカウント

市・区からのお知らせを受け取れるほか、図書館の蔵書
検索や道路の損傷通報などのサービスを利用できます。



発行

政策経営・国際戦略局広報・プロモーション戦略課 ☎045-671-2332 ☎045-661-2351
横浜役所 〒231-0005 中区本町 6-50-10 ☎045-671-2121 (代表)